

サンデンハチマンジンジャ 三田八幡神社 鳳至郡三田(今の山田)に在つたが、明治四十年山田郷神社に合併した。能登名跡志に、『三田村八幡宮の地主多門天は、昔は大社にて、上の毘沙門とて、奥の院三町許絶頂に、多門天の像石あり。大石の立石也。神主堀田氏なり。』とある。

サントウアン 三洞庵 金澤上鶴間町に在つて、曹洞宗に属する。前田利家が寶圓寺建立の際、門前地に幻住庵を立て、尼僧三洞要立を置かしたに起り、元文六年三月七日火を失し、次いで三洞庵と改めた。明治五年他の尼庵は悉く廢せられたが、三洞庵のみは尙存せられ、翌年之を今の地に移した。

サンドウジヨウ 三童子城 江沼郡三童子山のうち瀧原の領にある。爰戀紀聞に、今に郭の跡が残るとし、江沼志稿に、自然石に馬のすそ場を作つた跡があると記してゐる。

サンドウジヤマ 三童子山 江沼郡瀧原・菅提・那谷に跨る。江沼志稿に、瀧原領三童子山黒谷といふ所に窟がある。口に三角の石があつて戸の如く、深さ四五間、奥一段高くして小石を並べてあると記される。爰戀紀聞に、この山の菊ヶ淵といふ谷に、白色一重の野菊が生ずるとある。

サンドウシユウ 葵桐集 六卷。平岩仙桂の著で、大澤君山の刊行したもの。仙桂が金澤に居た間の詩を蒐輯したもので、寛文元年十月八日前田綱紀に隨つて江戸に赴いた時の渭北吟藁と題するもの五十首、同じく甲辰の夏東武を發して東海道から金澤に歸つた時の甲辰紀行と題するもの七十首等がある。

サントウナガシゲ 山東長茂 通稱次五右衛門。初め越後新發田の溝口伊豆守政一に仕へたが、寛永十一年前田利常の祿する所となつて二百石を受けた。子孫相繼いで藩に仕へる。

サンドウヤマ 三道山 能美郡山上郷に屬する部落。又三堂山に作る。郷村名義抄に、三堂山の麓に在るが故に村名を得たとする。

サンドウヤマジヨウ 三堂山城 能美郡三道山(部落名)にあつた。越登賀三州志故墟考に、三堂山の堡跡は和田山の西に在る。享祿四年朝倉宗滴の陣し、又天正八年柴田勝家の安井左近を置いたのは、北陸七國志に三堂山とあるが、實は和田山で、慶長五年の役前田利長の下營したのが、この三堂山である。利長はこゝに不破光昌の陣代不破大學及び岡島一吉を置いた。三童記には三田山に作るとある。

サンドウヨウケン 三洞要玄 大透圭徐の姉で、大透が越前高瀬寶圓寺に在つた時、要玄屢前田利家に謁し、その際兼約があつたから、大透の金澤に寶圓寺を建立するに當り、その門前に幻住庵を建て、住持とせられた。

サンドザクラ 三度櫻 石川郡吉野なる祇陀寺の遺址にあつて名木といはれたものである。加越能舊跡緒に、『祇陀寺屋敷の中に、三度櫻とて大木有。花は薄赤く八重に咲。大方四月上旬より下旬迄咲申候。花の莖根より段々苔出、三度咲申候。山王の神木の由。』とあるが、今は枯死して存せぬ。

サンニンジ 三忍寺 鹿島郡大槻に在つて、眞宗東派に屬する。

サンネンザケ 三年酒 鹿島郡七尾の酒は甘味あるを以て特色とし、特に三年酒と稱するものを最良とする。俗に『七尾の甘口三年酒』と稱するものは是である。

サンノイチ 三の一 加賀藩では、初め諸士死して其の子幼少なる時は、成長まで跡目相続を命ぜぬ例であつたが、承應二年姉崎勘右衛門歿後、伴太郎左衛門三歳で遺知三百石中の百石を賜はり、寛文七年殘知加賜を命ぜられたことから起り、幼少者には三の一を給する例となつた。之を三の一相續といふ。『三之一被下置候人々。』といふもの即ち是である。若し先代が特に功勞のあつた時には二分の一を興へることもあつた。何れにしても十五歳に達すれば原祿に復するが、その復舊せざる前に死する時は家斷絶した。之を以て嗣子の幼少なる時は、同姓又は親族中から養子を迎へて跡を嗣がしめ、之を順養子と名づけ、前の嗣子は更にこの順養子の養子とすることが行はれた。三の一は加賀藩の法であるが、支那大聖寺では幼少者に對し、僅かに數人扶持を給するにすぎなかつた。

サンノウ 三納 サン 石川郡林郷に在る部落。或は山納とも書いた。此の村に山王があるから、初は山王村と書いたと傳へる。

サンノウガハ 山王川 ↓コマタガハ 小又川。

サンノウガハ 山王川 珠洲郡寺社領山から流出し、同領で海に入る。流程八軒許。

サンノウザハ 山王澤 能美郡瀬木野にある。山王の小社があつた故名づけたといふ。

古へこゝに温泉があつたとの口碑により、安政元年試掘したが得ず、唯非常に巨大なる杉株を掘出した。

サンノウマツリ 山王祭 ↓セイハクサイ 青柏祭。

サンノウランザン 山納蘭山 通稱賢吉。書を能くし、寺子屋を開いて教授した。明治廿八年一月歿。

サンノサカダキ 三ノ坂瀧 能美郡三坂なる藤谷と稱する所の三條の瀑布をいふ。その中二條は高さ二〇米に達する。

サンノタキ 三ノ瀧 白山の別山なる岩屋俣川の隠里谷にある。高さ約一〇米。

サンノマル 三ノ丸 金澤城二ノ丸の東方に接する一區劃で、その北方に大手河北門があり、東方に搦手石川門がある。この兩門の間は、初め自由に士庶の通行を許されたが、承應の頃一婦人の白鳥堀に投身する者があつた爲、往來を禁止することになつたといふ。

サンノミネ 三ノ峰 能美郡別山の南にあつて、越前大野郡との境界に聳える山。高さ圖上測定二二〇米。地質係羅系。

サンノミヤ 三ノ宮 石川郡河内庄にある部落で、寛文十年の村御印には三の宮と記す。村名は領内に白山七社中の三宮があつた

↓コヘイダンザンノウシユウギョクシユウ 古兵談殘義拾玉集。

サンノウマツリ 山王祭 金澤で山王祭といふたのは、石川郡廣岡村なる廣岡山王祭をいひ、毎年四月申の日山王七社の神輿の神幸を行ひ、廣岡から折違町・安江町を経て、堤町通り、御門前町或は堂形前に至り、藩侯の一覽に供した。その神輿以下莊嚴を盡くしたが、安政二年十二月前田齊齋の中納言昇任を祝する爲、臨時の神幸を行つた後、再び行はれたことがない。

サンノウマツリ 山王祭 ↓セイハクサイ 青柏祭。

サンノウランザン 山納蘭山 通稱賢吉。書を能くし、寺子屋を開いて教授した。明治廿八年一月歿。

サンノサカダキ 三ノ坂瀧 能美郡三坂なる藤谷と稱する所の三條の瀑布をいふ。その中二條は高さ二〇米に達する。

サンノタキ 三ノ瀧 白山の別山なる岩屋俣川の隠里谷にある。高さ約一〇米。

サンノマル 三ノ丸 金澤城二ノ丸の東方に接する一區劃で、その北方に大手河北門があり、東方に搦手石川門がある。この兩門の間は、初め自由に士庶の通行を許されたが、承應の頃一婦人の白鳥堀に投身する者があつた爲、往來を禁止することになつたといふ。

サンノミネ 三ノ峰 能美郡別山の南にあつて、越前大野郡との境界に聳える山。高さ圖上測定二二〇米。地質係羅系。